

# 町田市文化財年報

## 2022 年度

町田市教育委員会



---

## 例 言

---

- 1.本書は2022年度、町田市内で行われた文化財事業の概要を記したものである。
- 2.本書の作成は町田市教育委員会生涯学習部生涯学習総務課が編集・執筆を担当した。

目次

**I.文化財保護審議会 . . . . . 5**

- 1.文化財保護審議会委員名簿
- 2.開催状況
- 3.主な審議内容

**II.文化財保護普及事業 . . . . . 5**

- 1.資料の貸出
- 2.写真の掲載等
- 3.資料調査対応
- 4.出張歴史事業
- 5.講師等の派遣
- 6.出版物の刊行
- 7.町田市立自由民権資料館
- 8.三輪の森ビジターセンター内郷土資料室
- 9.町田市考古資料室
- 10.文化財の展覧会等
- 11.町田デジタルミュージアム

**III. 埋蔵文化財保存事業 . . . . . 15**

- 1.試掘調査
  - (1) 清水台遺跡（町田市№616 遺跡）
  - (2) 町田市№358 遺跡
  - (3) 下常盤遺跡（町田市№143 遺跡）
  - (4) トキワ台遺跡（町田市№136 遺跡）
  - (5) 町田市№372 遺跡
  - (6) 町田市№968 遺跡
  - (7) 宮之前 A 遺跡（町田市№436 遺跡）
  - (8) 町田市№1007 遺跡

## I.文化財保護審議会

文化財保護審議会は町田市文化財保護条例 48 条により設置され、教育委員会の諮問に  
応じて文化財保存及び活用などについて調査、審議し、教育委員会に建議するものとされ  
ている。委員は 10 名以内で構成され、教育委員会が委嘱している。2022 年度は 8 名の委  
員が委嘱され、文化財に関する審議を行なった。

### 1.文化財保護審議会委員名簿

氏 名	現 職 等	担当分野
◎浜田弘明	桜美林大学教授	博物館学・人文地理学
○八木橋伸浩	玉川大学教授	民俗学・文化史
小島政孝	小島資料館館長	郷土史
阿諏訪青美	横浜市歴史博物館学芸員	日本中世史
阿部朝衛	帝京大学教授	考古学
内野秀重	八王子市長池公園自然館園長	自然誌
大野敏	横浜国立大学教授	建築史
鶴巻孝雄	元東京成徳大学教授	日本近代史

※◎は会長、○は副会長（2023 年 3 月 31 日現在）

### 2.開催状況

2022 年 5 月 17 日

2022 年 8 月 19 日

2022 年 11 月 22 日

2023 年 2 月 14 日

### 3.主な審議内容

- ・文化財の新規指定・登録（旧跡）について

## II.文化財保護普及事業

### 1.資料の貸出

貸出先	展示会名	貸出資料	貸出期間
京都府立京都文 化博物館 福島 県立博物館	「新選組展 2022」	常盤町・薄井家文書「異聞 録」	2022.7.5～12.14
大田区立郷土博 物館	「大勾玉展」	田端環状積石遺構・玉類 大珠 忠生遺跡・大珠	2022.8.2～10.16
函館市縄文文化 交流センター	「「カックウ」と 「まっくう」	田端東遺跡・中空土偶頭部 鉢形土器	2022.9.27～10.30
十日町市博物館	「縄文時代の始 まりを探る」	なすな原遺跡・隆起線文土 器 川島谷遺跡・爪形文土 器	2022.10.1～11.13
神奈川県教育委 員会（神奈川県立 歴史博物館 相 模原市立博物館）	「縄文人の環境 適応」	なすな原遺跡・土器 3 点 石器 9 点 耳飾り（レプリ カ）12 点	2022.12.24 ～ 2023.3.5

## 2. 写真の掲載等

提供先	出版物等	提供資料	発行
縄文ドキドキ会	「縄文ちっちゃいもの選手権」	なすな原遺跡・土偶(模写)	2022.5.25～
株式会社ジャンプコーポレーション	関西テレビ「所ジャパン」	田端東遺跡・中空土偶頭部	2022.5.31
富澤商店	社内配布用ブランドブック	原町田二六の市	2022.5
NHK	NHK「プラタモリ」町田	瓦尾根発掘現場写真 野津田町・村野家文書「石阪昌孝肖像写真」	2022.6.11
個人	神奈川大学古文書講座教材	函師町・佐藤家文書「新開畑発起願書類扣」	2022.7
町田市南第3高齢者支援センター	「便利マップ 公園編」	町田縄文キャラクター「まっくう」画像	2022.8
町田市観光コンベンション協会	町田薬師池公園四季彩の杜プロモーション動画	野津田町・河井家文書「野津田村絵図」(天和二年)	2022.8
山梨県立美術館	「縄文-JOMON-展」	御嶽堂遺跡・浅鉢形土器	2022.9.10～11.6
個人	ポストカード販売	忠生遺跡・深鉢形土器	2022.11.1～
株式会社平凡社	「土偶美術館」	田端東遺跡・土偶 忠生遺跡・土偶	2022.11.2
高知市立自由民権記念館	パネル展示	『团团珍聞』259号附録	2022.11.18～2023.4.18
株式会社むしか	ぴあMOOK「まるごとぜんぶ町田の本」	本町田遺跡 高ヶ坂石器時代遺跡 丸山獅子舞 矢部八幡宮獅子舞	2022.12.30
町田第2高齢者支援センター	「町2ナビ 通いの場と生活お役立ち情報(仮)」	町田デジタルミュージアムQRコード	2022.12
柏書房株式会社	「土偶大事典(仮)」	田端東遺跡・中空土偶頭部	2022.12(予定)
個人	論文掲載	築田寺南遺跡・石皿	
株式会社文学通信	縄文ZINE編「土偶を読むを読む」	田端東遺跡・中空土偶頭部	2023.3.30
株式会社ポートエモーション らぶ♡ふぁみ事務局	「らぶ♡ふぁみ vol.14」	町田縄文キャラクター「まっくう」画像	2023.6.15

## 3. 資料調査対応

機関等	目的	資料名	調査日
個人	研究	野津田町・村野家文書(167点) 野津田町・河井家文書(19点)	2022.4.3・23・24・29、6.26、7.16・30、11.3
京都府立京都文化博物館	調査	常盤町・薄井家文書(1点)	2022.4.5

個人	研究	能ヶ谷香山古墳群 西谷戸横穴墓群 根岸山横穴墓群 玉類	2022.4.22
十日町市博物館	調査	なすな原遺跡・隆起線文土器 川島谷遺跡・爪形文土器	2022.5.25
個人	研究	三矢田遺跡・琥珀玉	2022.6.14
個人	研究	函師町・佐藤家文書 忠生村全図 (計2点)	2022.6.24・12.23
個人	研究	函師町・佐藤家文書 (11点)	2022.6.25
個人	研究	なすな原遺跡・土偶	2022.10.26
個人	研究	忠生村役場文書 函師町・天野家文書 (計2点)	2022.11.6
個人	研究	回春堂文庫 (1点)	2022.11.11
山梨県立考古博物館	調査	忠生遺跡 木曾中学校遺跡 御嶽堂遺跡 田端東遺跡 相原坂下遺跡 金森遺跡出土資料	2023.2.17
個人	研究	野津田町・村野家文書 (32点)	2023.3.16

#### 4.出張歴史事業

小・中学校名	実施日	コース	学年	人数
町田第四小学校	2022.6.15	考古 45分	6年生	児童 96人 教員 4人
三輪小学校	2022.6.23	考古 45分	6年生	児童 82人 教員 3人
小中一貫ゆくのき学園大戸小学校	2022.9.13	民俗 90分 町田の養蚕	3年生	児童 22人 教員 1人
小川小学校	2022.10.25	民俗 90分 町田の養蚕	3年生	児童 72人 教員 3人
町田第四小学校	2022.11.22	民俗 45分 町田の養蚕	3年生	児童 105人 教員 3人
本町田東小学校	2022.12.7	民俗 45分 どんど焼きについて	4年生	児童 44人 教員 2人
本町田東小学校	2022.12.14	歴史 45分 薬師池公園について	4年生	児童 44人 教員 2人
真光寺中学校	2023.1.20	歴史 45分 昔の地図	1年生	生徒 79人 教員 6人
町田第一小学校	2023.1.25	民俗 45分 昔の道具	3年生	児童 119人 教員 4人
南成瀬小学校	2023.2.10	歴史 45分 成瀬の昔の様子	3年生	児童 46人 教員 2人
藤の台小学校	2023.3.6	民俗 45分 昔の道具	3年生	児童 76人 教員 4人

## 5.講師等の派遣

月 日	依頼・主催者	内 容	参加人員	実 施 場 所
2022.6.15	生涯学習センター 鶴川地区協議会	3 水スマイルラウンジ まなびのひろば「歴史 をまもり・伝える—自由 民権資料館のこれまで とこれから—」	25 人	和光大学ポ・プリ ホール鶴川
2022.6.24	生涯学習センター	市民大学 HATS「町田 の歴史Ⅰ～縄文から中 世～第 6 講座（バス見 学）「目で確かめる町田 の歴史～田端環状積石 遺構など～」	26 人	田端環状積石 遺構、小山田 1 号遺跡など
2022.8.4	生涯学習総務課 子どもセンターま あち	「木の皮からつくる紙 すき教室」	22 人	子どもセンタ ーまあち
2022.9.16	生涯学習センター	市民大学 HATS「町田 の歴史講座：江戸時代 後期の市域～江戸近郊 地域として～」	27 人	生涯学習セン ター
2022.9.30	生涯学習センター	市民大学 HATS「町田 の歴史講座：公開講座： 村の文芸と文化～町田 出身の俳人親子・五十 嵐梅夫と浜藻～」	62 人	生涯学習セン ター
2022.11.8	生涯学習センター	市民大学 HATS「町田 の歴史講座：幕末の市 域」	32 人	生涯学習セン ター

## 6.出版物の刊行

書 名	発行機関	発行年月日	発行部数
町田市文化財年報 2021 年度	町田市教育委員会	2022.9.1	250
町田市立自由民権資料館 紀要『自由民権』36号	町田市教育委員会	2023.3.31	900
武相近代資料集 1-2 村 野日誌 2	町田市教育委員会	2023.3.31	500



## 7.町田市立自由民権資料館

月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）、年末年始以外は開館している。

常設展は2022年4月1日から9月4日まで「武相の民権/町田の民権」、9月5日より11月2日までリニューアルのため休館し、11月3日より「自由民権運動と町田」、2023年2月1日より「町田の歴史—時代でたどる人びとのくらし—」をスタートし、自由民権運動と町田の歴史の2種類の常設展示を行っている。常設展示では、二次元コードをつけることで、デジタルミュージアムとの連携をはかった。また、自由民権運動の常設展リニューアルに合わせて、記念講演会を開催した。年間開館日数は258日、年間利用者数は5891人だった。

また、特別講座『町田市史史料集』を読むを3回、フィールドワーク（FW）「町田の歴史を歩く」を2回開催した（FW3回のうち1回が雨天のため2023年4月23日実施）。

### 企画展

展示名	開催期間	日数	来館者数
企画展「野津田薬師堂と武相寅歳薬師」	2022.4.9～5.8	26日	983人



常設展「自由民権運動と町田」



常設展「町田の歴史—時代でたどる人びとのくらし—」

講座事業

種類	講師	タイトル	開催日	会場	受講者数
特別講座	鈴木直樹 (中央大学広報室大学史資料課)	「馬草場関連史料を読む」	2022.11.13	中央図書館ホール	26人
記念講演	福井淳 (立正大学文学部特任教授)	「都市と地域から考える自由民権」	2022.11.20	町田市民文学館ことばらんど大会議室	37人
特別講座	山崎久登 (東京都立砂川高等学校教諭)	「鷹場史料を読む」	2022.11.27	中央図書館ホール	25人
特別講座	栗原健一 (立正大学文学部専任講師)	「御救」関係史料を読む」	2022.12.4	中央図書館ホール	31人
FW	資料館職員	町田の歴史を歩く 森野コース	2023.3.12	森野	18人
FW	資料館職員	町田の歴史を歩く 原町田コース	2023.3.19	原町田	19人
FW	資料館職員	町田の歴史を歩く 金森コース	2023.3.26 (雨天順延)	金森	—



### 8.三輪の森ビジターセンター内郷土資料室

月曜日（祝日の場合は開室、翌日休室）、年末年始以外は開室している。

資料キャプションに二次元コードを取り入れ、町田デジタルミュージアムと連携を図った。



### 9.町田市考古資料室

展示コーナーのみを年末年始を除く、毎月第2、第4土曜、日曜、祝祭日（7、8月は毎週土日、祝日）に開室している。

2023年2月1日に「縄文のまちだ」をテーマに展示のリニューアルを行い、縄文時代を中心に町田の代表的な考古資料を展示している。



## 10. 文化財の展覧会等

### (1) 町田ツーリストギャラリーでの展示

2020年度より町田市観光コンベンション協会の協力を得て「ぼっぼ町田」1階、「まちの案内所 町田ツーリストギャラリー」で考古資料の展示を行っている。

2022年4月1日～8月21日

なすな原遺跡出土・土偶

縄文時代晩期

2022年8月22日～12月20日

忠生遺跡 A 地区 1 地点出土・ミニチュア土器

縄文時代中期

2022年12月21日～2023年3月31日

忠生遺跡 A 地区 1 地点出土・深鉢形土器

縄文時代中期



2022年4月1日～8月21日



2022年8月22日～12月20日

### (2) 市庁舎1階イベントスタジオでの展示

所蔵民俗資料の中にあるさまざまな種類の桶と樽を展示し、くらしの中でどのように使われてきたかを紹介した。2022年10月31日～11月4日に開催し、観覧者数は367人であった。



展示の様子

### (3) 東京文化財ウィーク

国の「文化財保護強調週間」に合わせて、都内各地にある文化財を一斉に公開する「東京文化財ウィーク 2022」に参加した。

#### (4)文化財防火デー

町田消防署と町田市が主催して消防訓練を次の通り実施した。

日時：2023年1月28日 午前9時30分～10時30分

場所：町田市矢部町 2666

箭幹八幡宮隨身門（町田市指定有形文化財）



#### (5)まっくう給食

町田市から発掘された土偶をモデルとした、まちだ縄文キャラクター「まっくう」を通じて「縄文のまちだ」に親しみと誇りを持ってもらうことを目的とし、東京文化財ウィーク期間中に実施した。「まっくう」をモチーフにしたもの、または土偶や土器など縄文にちなんだメニューを各小学校で提供した。



## (6)国指定史跡高ヶ坂石器時代遺跡見学会

整備が進み公開されている国指定史跡高ヶ坂石器時代遺跡を多くの人たちに知ってもらい、地域の歴史への関心を高めることを目的とし次のとおり実施した。

日程 2022年11月19日

会場 高ヶ坂石器時代遺跡（牢場遺跡・稲荷山遺跡・八幡平遺跡）

参加人数 午前14人 午後14人



## 11. 町田デジタルミュージアム

町田デジタルミュージアムの2022年4月1日より全面公開開始

URL : <https://trc-adeac.trc.co.jp/WJ11C0/WJJS02U/1320905100>

町田デジタルミュージアムは、町田市の持つ優れた考古・歴史・民俗資料をデジタル化、町田の通史を概観できるデジタルアーカイブをインターネット上で公開、町田市の歴史情報を広く分かりやすく発信している。利用者はいつでも、どこでも、無料で資料の閲覧ができる。

「町田デジタルミュージアム」の特長

- ①時代ごとの年表、解説により、旧石器時代から現代までの町田の歴史をわかりやすく紹介している。
- ②2000点以上の考古・歴史・民俗資料に関する画像が掲載され、そのうち240点は3Dを含む高精細画像である。
- ③代表的な近世の古民家、普段は内部を見学できない横穴墓を3Dパノラマビュー画像でその場にいるような感覚でみられる。

### Ⅲ.埋蔵文化財保存事業

#### 1.試掘調査

##### (1)清水台遺跡（町田市№616 遺跡）

所在地	玉川学園七丁目 4096
調査原因	宅地造成
調査期間	2022年5月24～25日
調査面積	1.5×6m×1ヶ所、 1.5×8m×1ヶ所、 1.5×10m×1ヶ所=36㎡
支援業者	(株)四門
検出遺構	なし
検出遺物	縄文土器、石器

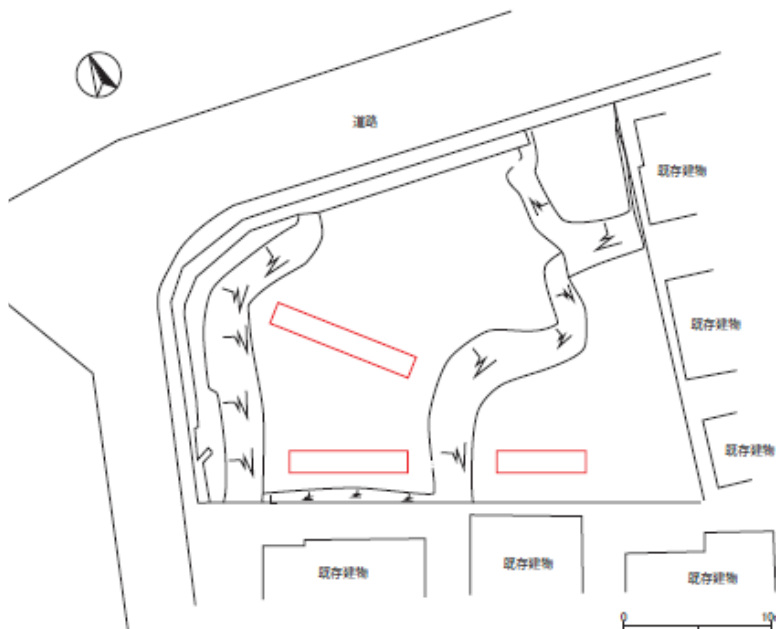


#### 調査概要

丘陵斜面に立地し、標高は約86mである。調査地は宅地として過去に造成され、一部に盛土が認められる。調査の結果、遺構は確認されなかった。遺物は地表面に縄文時代中期（勝坂式、加曾利E式）の土器片が認められ、斜面下部にあたる3区からも同時代の土器片が多量に出土し、打製石斧や石鏃の出土も認められた。このことから周辺に同時期の集落の存在が推測できる。

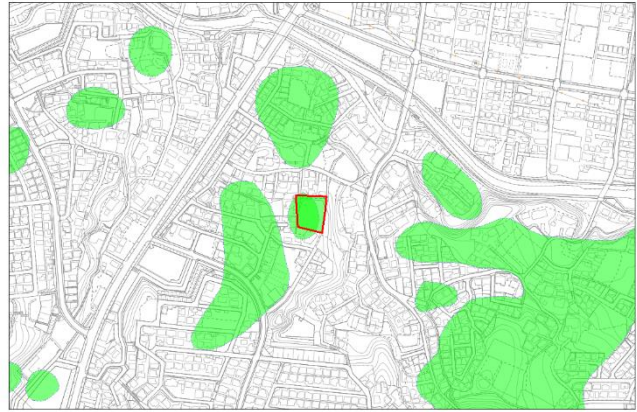


3区



## (2)町田市№358 遺跡

所在地 大蔵町字関山 2831-1 外  
調査原因 宅地造成  
調査期間 2022年8月9～10日  
調査面積 2×4m×4ヶ所=32㎡  
支援業者 (株)四門  
検出遺構 性格不明遺構 2基  
検出遺物 なし

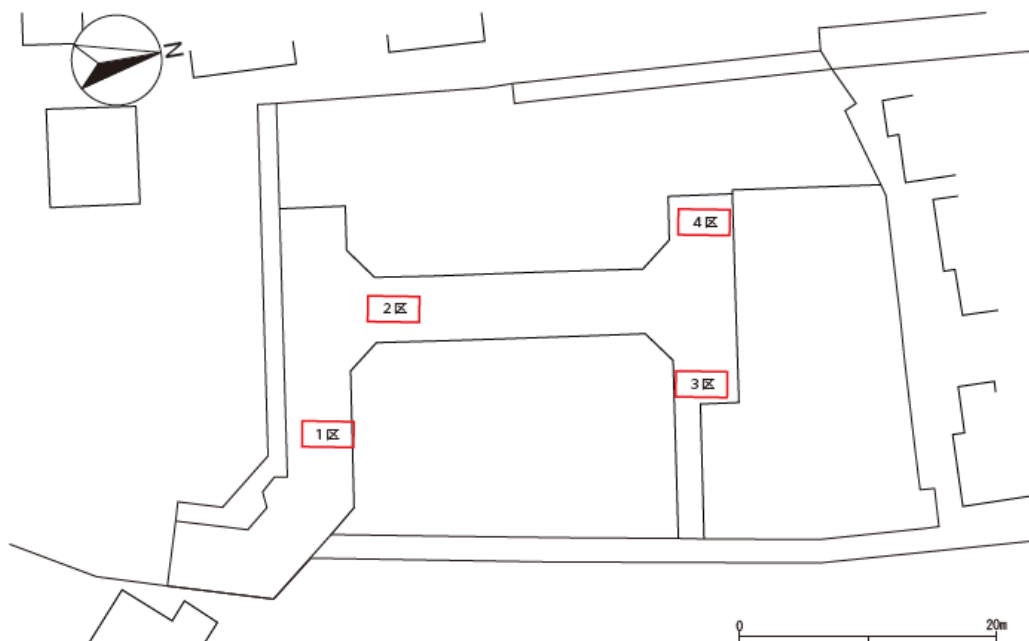


### 調査概要

調査地は鶴見川右岸の丘陵上に位置し、標高は約61mである。表土・耕作土層の直下にローム層が認められ、3区から性格不明遺構2基が確認された。2基とも調査区外へ広がりを見せるため平面形は不明である。断面形はU字状を呈する。1基は焼土を覆土の主体とするため炉としての機能を持っていたと考えられる。遺物は出土していない。



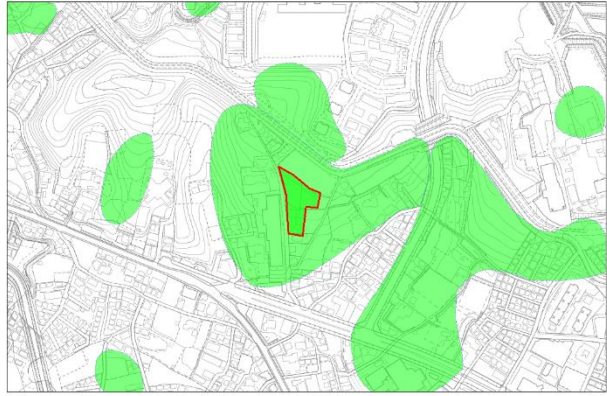
3区 性格不明遺構完掘





### (3)下常盤遺跡（町田市№143 遺跡）

所在地 常盤町字二十四号 3555 外  
調査原因 宅地造成  
調査期間 2022年11月15～16日  
調査面積 2×4m×5ヶ所=40㎡  
支援業者 (株)四門  
検出遺構 ピット7基  
検出遺物 縄文土器



#### 調査概要

調査地は境川左岸の丘陵斜面に立地し、標高は約125～131mである。1区でピット7基を確認した。1区は調査地点で最も標高の高いところに位置しており、後世の削平を受けて遺構確認面はハードローム層である。ピットの平面形は円形または楕円形である。規模は、径16～45cm、深さ25～55cmを測る。縄文時代中期勝坂式期の土器片を伴い、この時期の住居などの遺構の一部であったと考えられる。

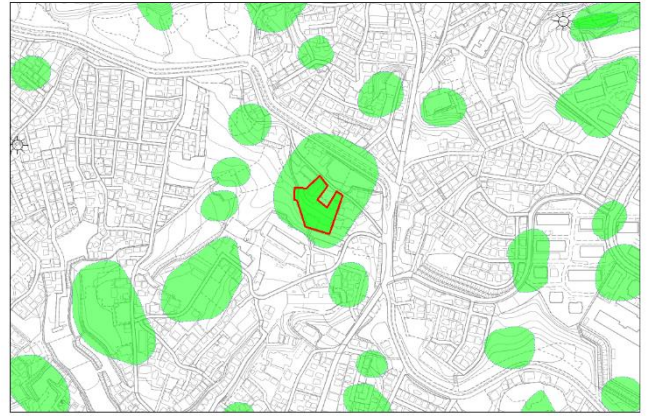


1区 ピット1



#### (4)トキワ台遺跡（町田市№136 遺跡）

所在地 常盤町字二十二号 2936-1 外  
調査原因 宅地造成  
調査期間 2022年12月6～9日  
調査面積  $1.5 \times 1.5 \text{m} \times 8 \text{ヶ所} = 18 \text{m}^2$   
支援業者 (株)四門  
検出遺構 土坑1基、性格不明遺構1基  
検出遺物 なし

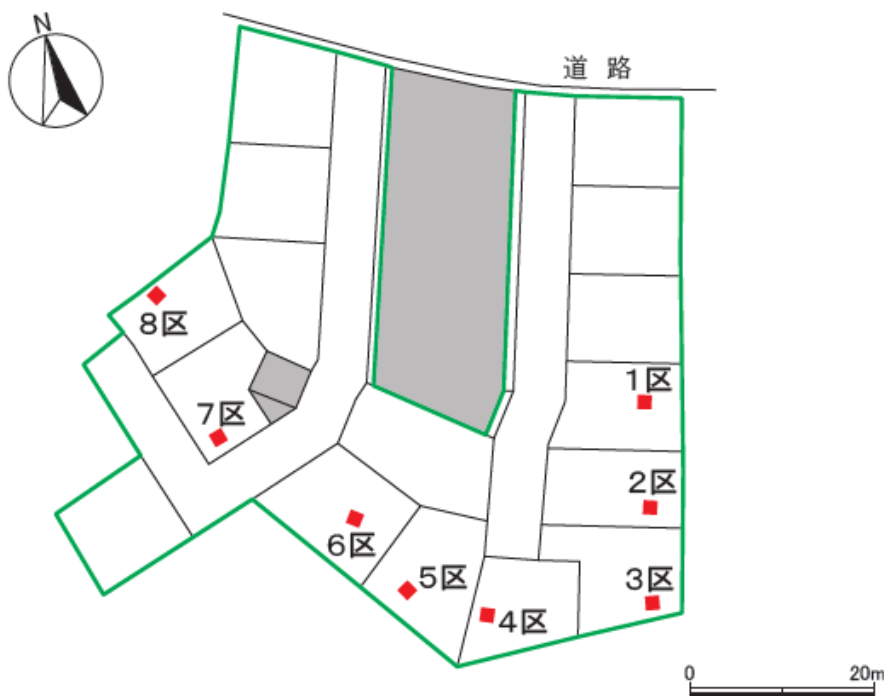


#### 調査概要

調査地は境川左岸の丘陵斜面に立地し、標高は約137～148mである。3区で土坑1基、7区で性格不明遺構1基を確認した。土坑は平面形が楕円形、深さが50～70cm以上、黒褐色土の覆土である。覆土から縄文時代のものと考えられる。性格不明遺構は平面形が楕円形を呈している。遺物は出土しなかった。



3区



## (5)町田市№372 遺跡

所在地 広袴二丁目 16-39  
調査原因 宅地造成  
調査期間 2022年12月15～16日  
調査面積 2×2m×2ヶ所=8㎡  
支援業者 (株)四門  
検出遺構 なし  
検出遺物 なし



### 調査概要

真光寺川右岸の丘陵上に立地し、標高は約61mである。表土下に自然堆積層が認められるが、遺構・遺物は確認されなかった。

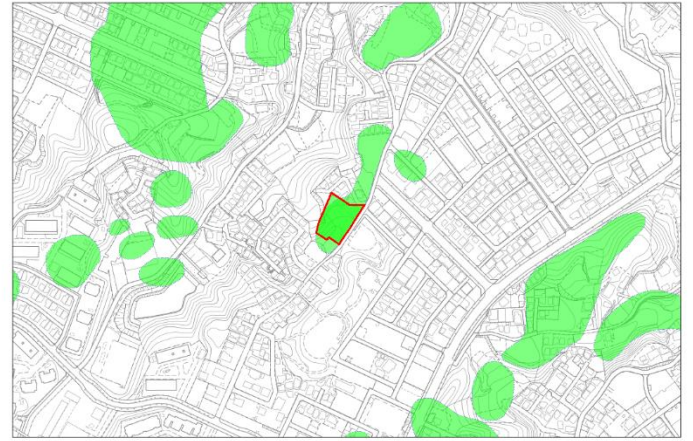


2区



## (6)町田市№968 遺跡

所在地 上小山田町字二号 177-1 の一部  
調査原因 宅地造成  
調査期間 2023年2月20～21日  
調査面積 2×4m×3ヶ所=24㎡  
支援業者 (株)四門  
検出遺構 なし  
検出遺物 なし

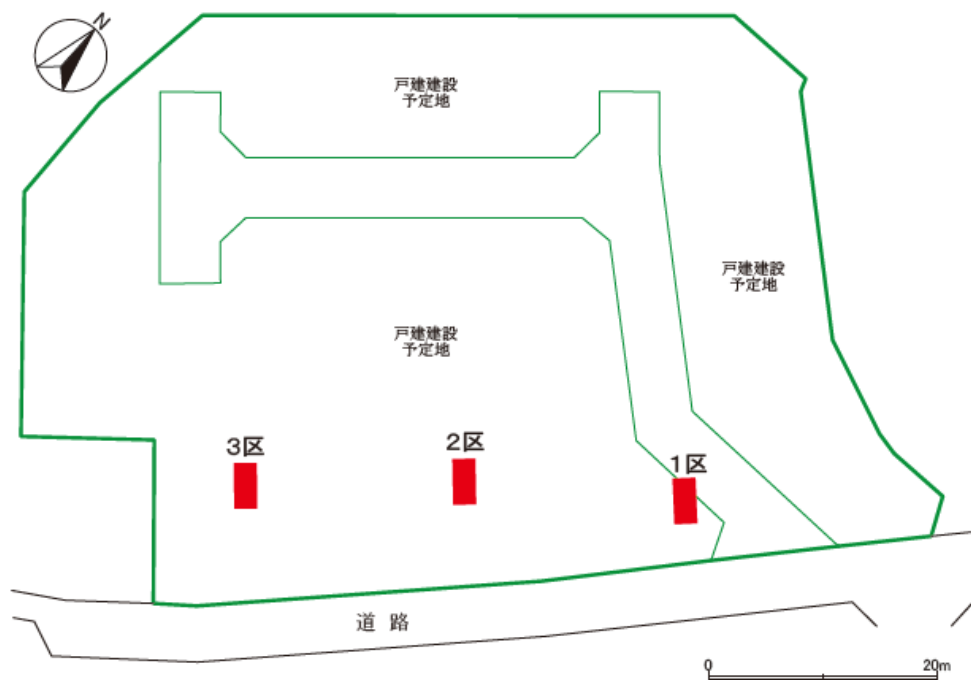


### 調査概要

鶴見川右岸の丘陵上に立地し、標高は約 120m である。過去に大きく削平されており、遺構・遺物は確認されなかった。



2区



## (7)宮之前 A 遺跡 (町田市No436 遺跡)

所在地 三輪町字五号 368 外  
調査原因 宅地造成  
調査期間 2023 年 2 月 22～24 日  
調査面積 2×4m×3ヶ所=24 m<sup>2</sup>  
検出遺構 竪穴建物跡 3 軒、ピット 2 基  
検出遺物 縄文土器、土師器、須恵器、石器

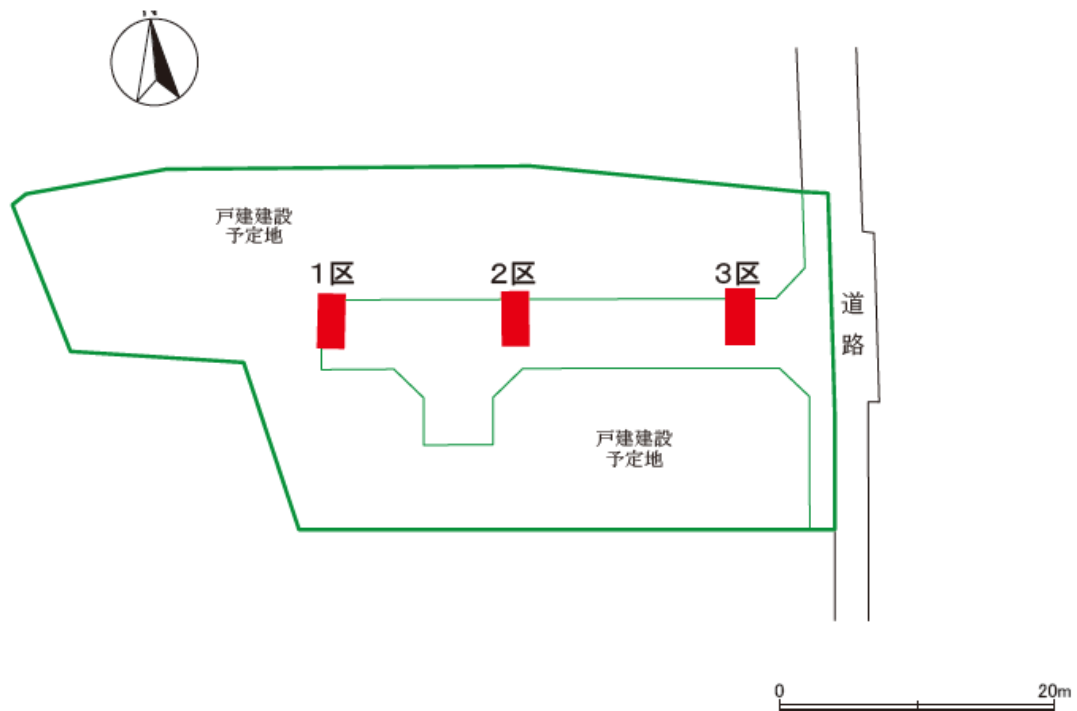


### 調査概要

鶴見川右岸の台地上に立地し、標高は約 30mである。1 区でピット 1 基を確認した。2 区では古墳時代の住居跡 3 軒を確認した。3 区では表土直下のローム層を掘り込む形でピット 1 基を確認した。住居の柱穴の可能性はある。すべての調査区から遺物が出土しており、6 世紀後半～7 世紀初頭のものが主体である。

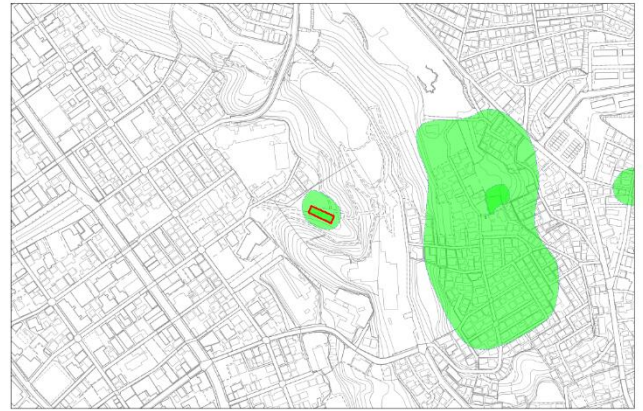


2 区



## (8)町田市№1007 遺跡

所在地 原町田四丁目 1531-1 外  
調査原因 美術館建設  
調査期間 2023年2月27日～3月2日  
調査面積 1×10m×1ヶ所、  
1×2m×4ヶ所=18㎡  
検出遺構 ピット2基、性格不明遺構1基  
検出遺物 縄文土器、石器

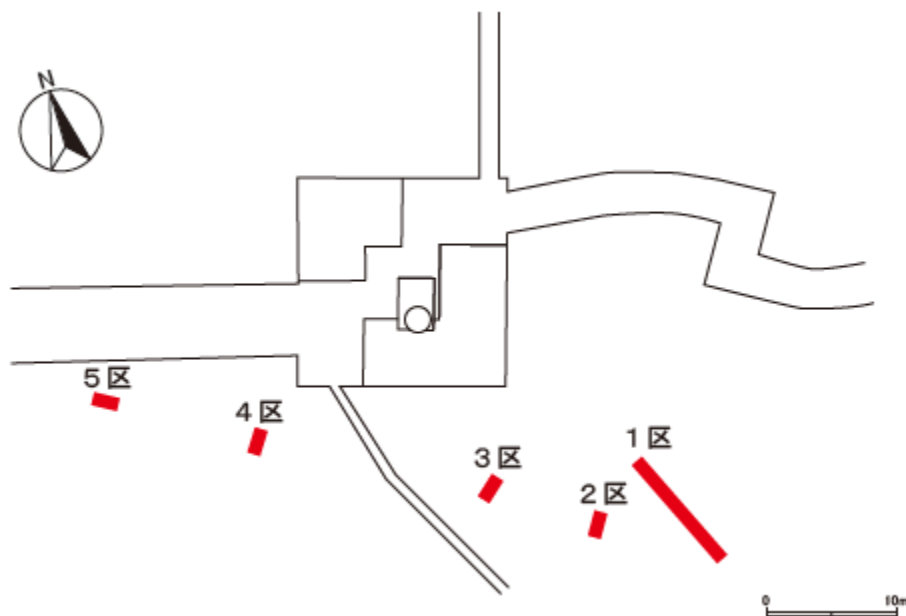


### 調査概要

調査地は芹ヶ谷公園内の谷戸を望む丘陵上で、標高は約88mである。1区でピット1基、4区でピット1基、性格不明遺構1基が確認された。出土遺物は1区から縄文時代前期諸磯式期を中心に前期から中期の土器片が確認された。4区では諸磯式期の土器片と黒曜石製の石鏃が出土した。5区からは縄文時代前期黒浜式期の土器片が出土している。



1区



## 町田市文化財年報 2022 年度

発行日 2024 年（令和 6 年）3 月 21 日  
編集 町田市教育委員会生涯学習総務課  
〒194-8520 東京都町田市森野 2-2-22  
電話 042-724-2554  
発行 町田市教育委員会  
刊行物番号 23-64  
印刷 庁内

この冊子は 250 部作成し、1 部あたりの単価は 417 円です（職員人件費を含みます）。

